

拡大交流委員会

委員長名：宮川 史生

副委員長名：内海 修治

委員名：久坂 誠治、田子 慎祐、竹生田 修、田中 美登、長南 光紀、
牧田 芳明、光山 英虎、メタ バラッツ、山内 英之

1) 事業報告

(I) 会員拡大、オリエンテーション及びセミナーの実施

- (a) 内容：会員の拡大、青年会議所の基本概要の説明、新入会員の育成、
拡大ツールの作成
- (b) 時期：2012年 1月～12月
- (c) 開催場所：鎌倉市内及び近隣各所
- (d) 対象：会員拡大：新入会員6名
オリエンテーション・セミナー：6名

(II) 諸先輩方との交流を通してより良い関係を構築する事業の開催

- (a) 内容：メモリアルデーの開催
- (b) 時期：2012年 3月13日
- (c) 開催場所：鎌倉山下飯店
- (d) 対象：正会員28名、OB22名、ゲスト 1名

(III) 近隣LOMと共に会員同士の交流を図る事業の開催

- (a) 内容：3LOM合同例会の開催（主管：社団法人 逗子葉山青年会議所）
- (b) 時期：2012年 6月19日
- (c) 開催場所：湘南国際村センター
- (d) 対象：社団法人 逗子葉山青年会議所 正会員11名、ゲスト10名
社団法人 藤沢青年会議所 正会員24名、ゲスト 0名
公益社団法人 鎌倉青年会議所 正会員24名、ゲスト 5名

(IV) 家族への感謝を示し、活動への理解を深めていただく事業の開催

- (a) 内容：家族交流会の開催
- (b) 時期：2012年10月20日
- (c) 開催場所：アマンダンブルー鎌倉
- (d) 対象：正会員26名、ゲスト 2名、家族・関係者20名

2) 委員会報告

拡大交流委員会では、継続的なまちづくり運動およびその更なる活性化の為には会員の増加とそれぞれの活動への積極的な参加が欠かせず、活動を行う上で現役会員と新入会員とが結束すること、また、諸先輩方とのつながりや近隣LOMとの連携、家族からの理解や支えは欠かせないものであると考え、以下のふたつの事業を軸に一年間活動をしてまいりました。

拡大事業では、ここ数年のうちに卒業する会員を数多く抱える現状を考え、最重要課題として地域に必要とされる資質を備えた会員の増強を目指しました。新入会員にはオリエンテーション及びセミナーを実施し、青年会議所活動への意識を高く持ち積極的に参加する会員となるべく育成に努めました。交流事業では、諸先輩方との交流会を通して敬意と感謝の想いを抱きより良い関係を構築しました。また、近隣LOMと共に事業を行うことで会員同士の交流を図り、さらに、家族への感謝を示す交流会を開催して家族同士で楽しみながら活動への理解を深めていただきました。

年間の活動を通じ、志を同じくする仲間や新しく出逢う仲間、尊敬する諸先輩方、大切な家族との「つながり」すなわち「縁」の大切さを会員に感じていただきました。その縁を活かすことで鎌倉のまちづくり運動が過去から未来へと繋がりながら更に活性化し、その先に我々の目指す「明るい豊かな社会の実現」の一助となったことを確信致します。

最後となりますが、ご指導いただきました鈴木理事長をはじめとする正副理事長の皆様、温かくご指導いただいた当委員会担当の渡邊副理事長、励ましあい、時には意見をぶつけ合いながら事業を創り上げた委員会メンバーの皆様、そして、鎌倉青年会議所すべてのメンバーの皆様に深く感謝を申し上げ委員会報告とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。